

「エネルギーの地産地消」に取り組む地域の例

北海道苫前町
1999年に日本初の商業用風力発電施設が稼働
町内に風車42基。総出力53,000kW。

北海道別海町
町内の乳用牛、肉用牛の飼養頭数13万頭。家畜の排せつ物によるバイオマスを家庭向けのガスに変換。

新潟県上越市
雪室で貯蔵された製品のブランド化、雪氷エネルギーを住宅用冷房に利用。

青森県
風力発電施設の集積を活かし、風力発電メンテナンス企業誘致やメンテナンス業務への参入を支援。

長野県飯田市
市民ファンドによる太陽光発電システムの設置・運営。

青森県六ヶ所村
2008年世界初の蓄電池併設型の商用風力発電所が稼働。出力51,000 kW。

阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）
大屋根（銀傘）に太陽光発電システムを設置。発電した電力をナイター照明に使用。球場11個分の森林が吸収するCO₂の排出削減。

栃木県那須塩原市
農業用水を利用した小水力発電設備を導入。

岡山県真庭市
森林資源を活用したバイオマスエネルギーの利用、バイオマスツアーによる環境学習の場の提供。

東京都
住宅用太陽光発電システムによって発電された電力の環境価値をグリーン電力証書化し企業に販売予定（太陽光発電システム設置補助金の原資としても活用）。

広島県三次市
市内の学校やプールなどでの地中熱エネルギーの利用。

東京都立潮風公園（東京都品川区）
企業や個人からの寄付金を得て、NPOが太陽光発電システムを建設・運営。

大分県日田町
砂防ダムの未利用水源を利用した小水力発電。

東京スカイツリー（東京都墨田区）
地中熱を利用した熱供給システムを導入予定。
羽田空港（東京都大田区）
新国際線旅客ターミナルの冷暖房システムの一部に地中熱エネルギーを利用予定。

熊本県
環境立県の実現に向け取組む。太陽光発電システムの設置が住宅100戸あたり2.21戸（全国平均0.92戸）。複数の太陽電池メーカーが進出。

大阪府堺市
大手電機メーカーが電力会社と共同で世界最大級の太陽光発電設備（最大出力18,000kW）を設置し、それによって発電された電力をコンビナート内での自家消費電力として使用。

熊本県熊本市
「よかエネ」市民学校として、市民に太陽光発電設備等への見学や講演会の機会を提供。

愛媛県伊方町
四国最大級の風力発電施設を観光資源として活用。

愛媛県松山市
2000年から太陽光発電システムの設置補助制度を導入、公共施設の太陽光発電システムで発電した電力をグリーン電力証書化し、地元企業に売却。

鹿児島県鹿児島市
住宅用太陽光発電システムによって発電された電力をグリーン電力証書化。

宮崎県
・太陽光を利用した産業振興。太陽光発電システムの設置が住宅100戸あたり2.40戸
・鶏ふんを燃料に国内最大級バイオマス発電所

高知県梼原町
・端材等から木質ペレットを製造する施設を設置
・風力発電による売電収入を環境基金として積立
・地中熱エネルギーを利用したプール

凡例

- ：太陽光エネルギー
- ：風力エネルギー
- ：バイオマスエネルギー
- ：地中熱エネルギー
- ：小水力エネルギー
- ：雪氷エネルギー